

---

## 在宅血液透析(HHD)患者交流会の意義

---

医療法人衆和会 長崎腎病院

○田賀農恵 佐藤泰崇 林田征俊 久保純子 白井美千代 丸山祐子 原田孝司 船越哲

### 【目的】

HHD 患者は透析室スタッフや他患者との関わりも少なく、患者・介助者の不安の軽減、スタッフからの情報提供などを行う目的で、HHD 患者交流会を開催し意義を検討する。

### 【方法】

対象は施行中・訓練中・関心がある患者・介助者。交流会の内容は患者・介助者からの話、勉強会を行い、交流会後にアンケートを施行した。

### 【結果】

合計 14 名の参加者で話し合った。施行中の患者全員から「体が楽になった」、介助者からは「元気になってよかった」という意見が聞かれた。HHD 施行中の患者・介助者同士で、下肢攣りや災害時のことなどの情報を交換できたことで、不安に感じていたことが解決、安心したという声が多く聞かれた。また関心がある方々からも各自の疑問点や不安を施行中患者および医療スタッフへ活発に行っていた。

### 【考察】

実際に施行中の方の話聞く事でスタッフからの情報提供よりも身近に感じる事ができたと思われる。また、HHD に一歩踏み出せずにいた方のきっかけの一つになると考え、今後も患者の意見を取り入れ定期的に開催していく予定である。